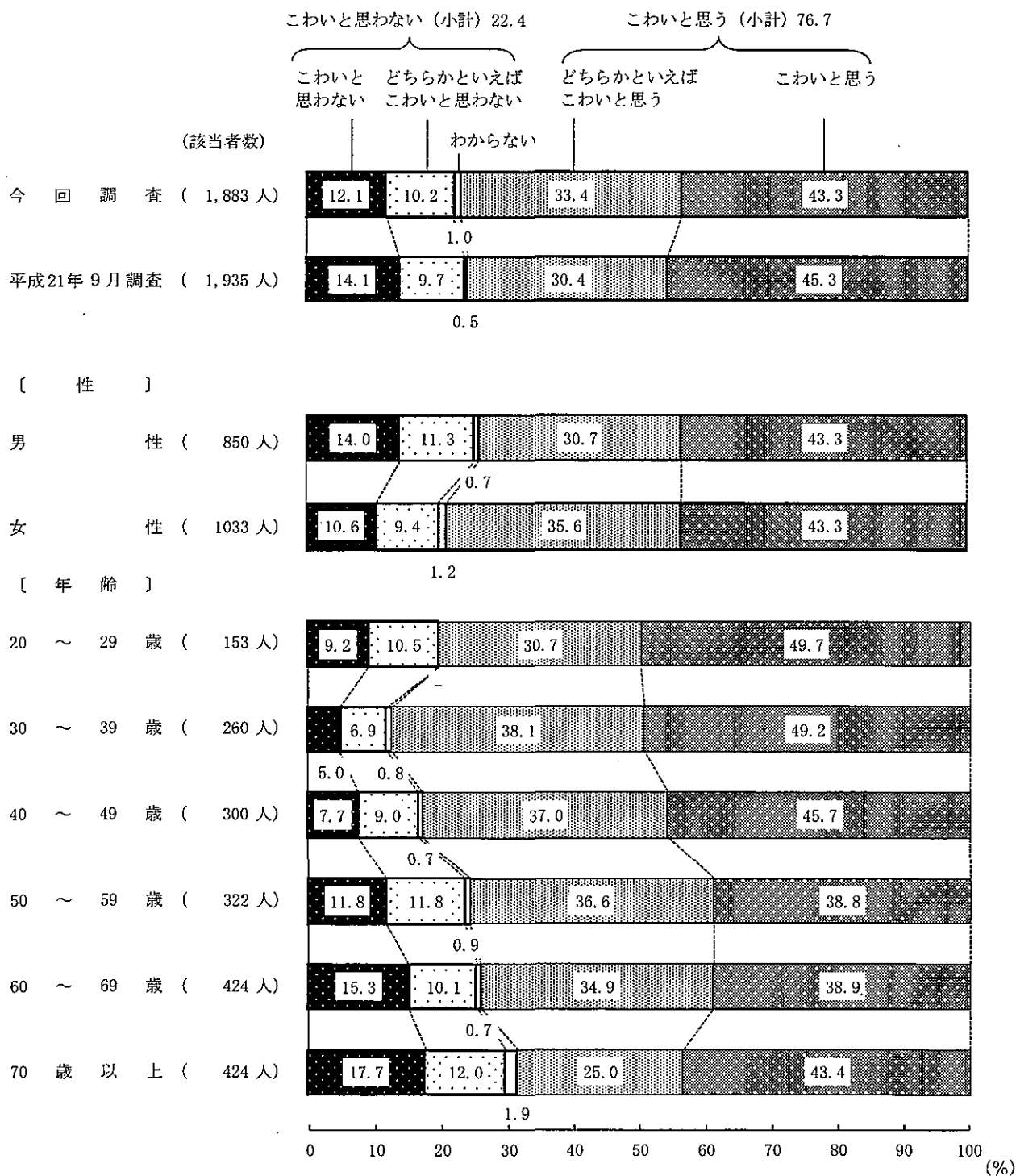


1 がんに対する印象・認識について

(1) がんに対する印象

	平成21年9月	平成25年1月
・こわいと思わない（小計）	23.8%	→ 22.4%
・こわいと思わない	14.1%	→ 12.1%
・どちらかといえばこわいと思わない	9.7%	→ 10.2%
・こわいと思う（小計）	75.7%	→ 76.7%
・どちらかといえばこわいと思う	30.4%	→ 33.4%
・こわいと思う	45.3%	→ 43.3%



(がんに対する印象について、「こわいと思う(小計)」とする者(1,444人)に)

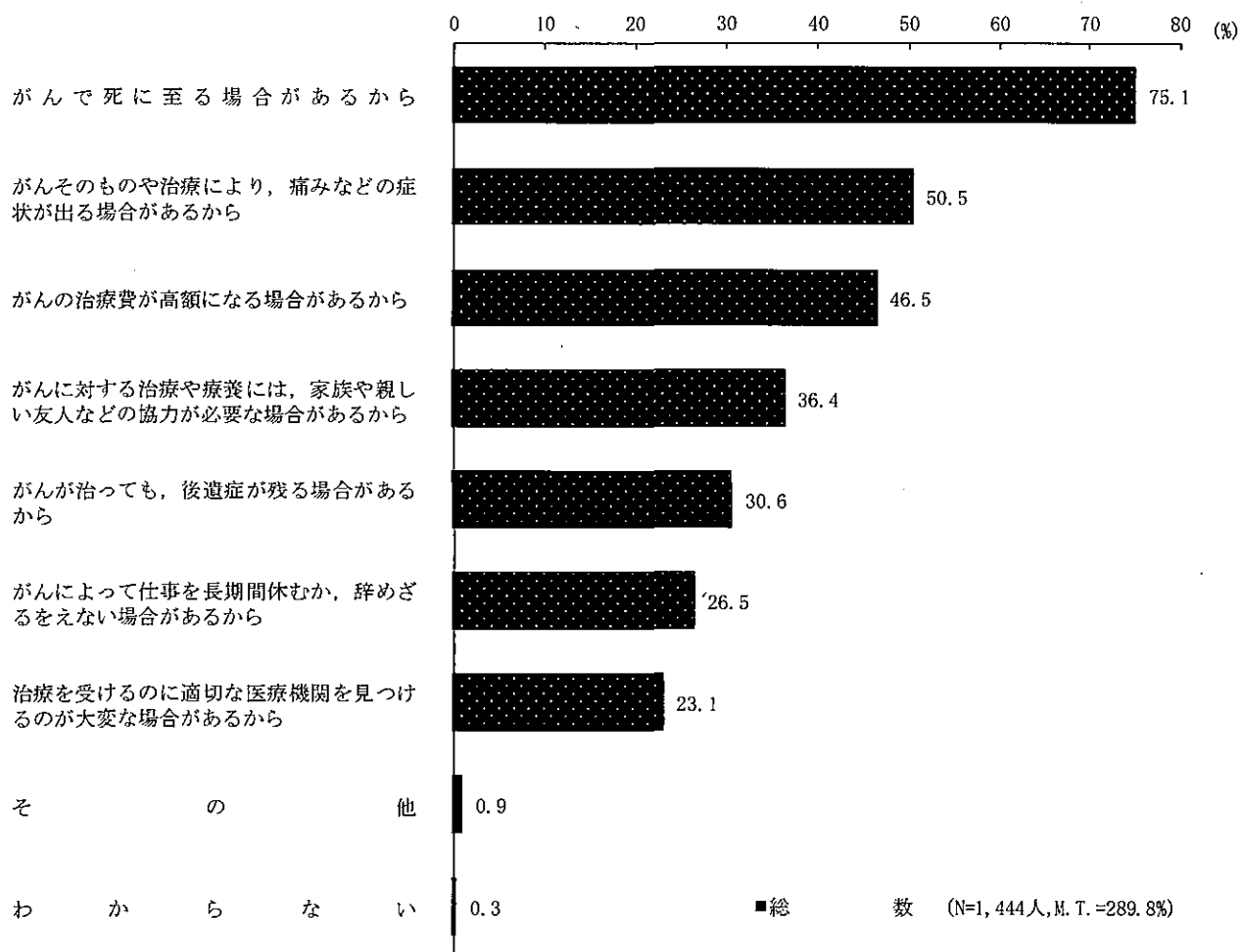
ア がんをこわいと思う理由の認識

(複数回答, 上位4項目)

平成25年1月

- ・ がんで死に至る場合があるから 75.1%
- ・ がんそのものや治療により、痛みなどの症状が出る場合があるから 50.5%
- ・ がんの治療費が高額になる場合があるから 46.5%
- ・ がんに対する治療や療養には、家族や親しい友人などの協力が必要な場合があるから 36.4%

(がんに対する印象について、「どちらかといえばこわいと思う」、「こわいと思う」と答えた者に、複数回答)



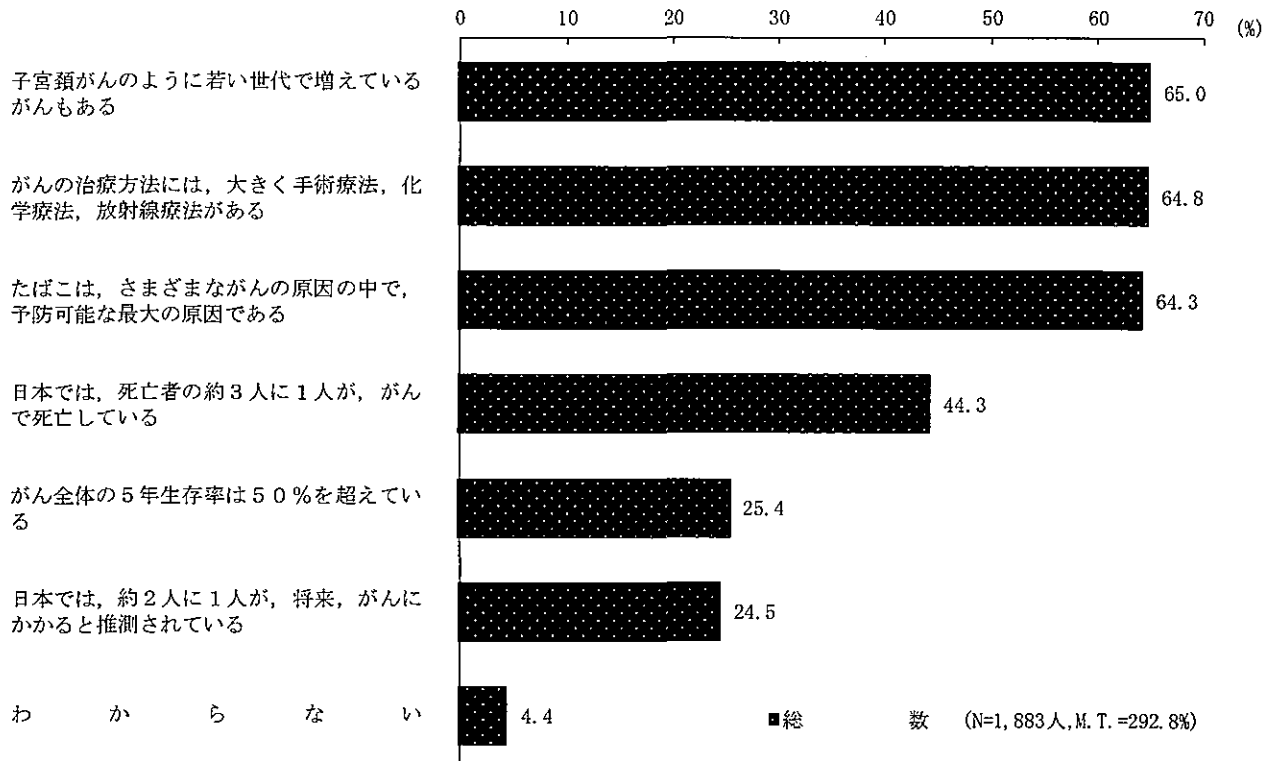
(2) がんに対する知識の認識

(複数回答, 上位4項目)

平成 25 年 1 月

- ・子宮頸がんのように若い世代で増えているがんもある 65.0%
- ・がんの治療方法には、大きく手術療法、化学療法、放射線療法がある 64.8%
- ・たばこは、さまざまながんの原因の中で、予防可能な最大の原因である 64.3%
- ・日本では、死亡者の約3人に1人が、がんで死亡している 44.3%

(複数回答)

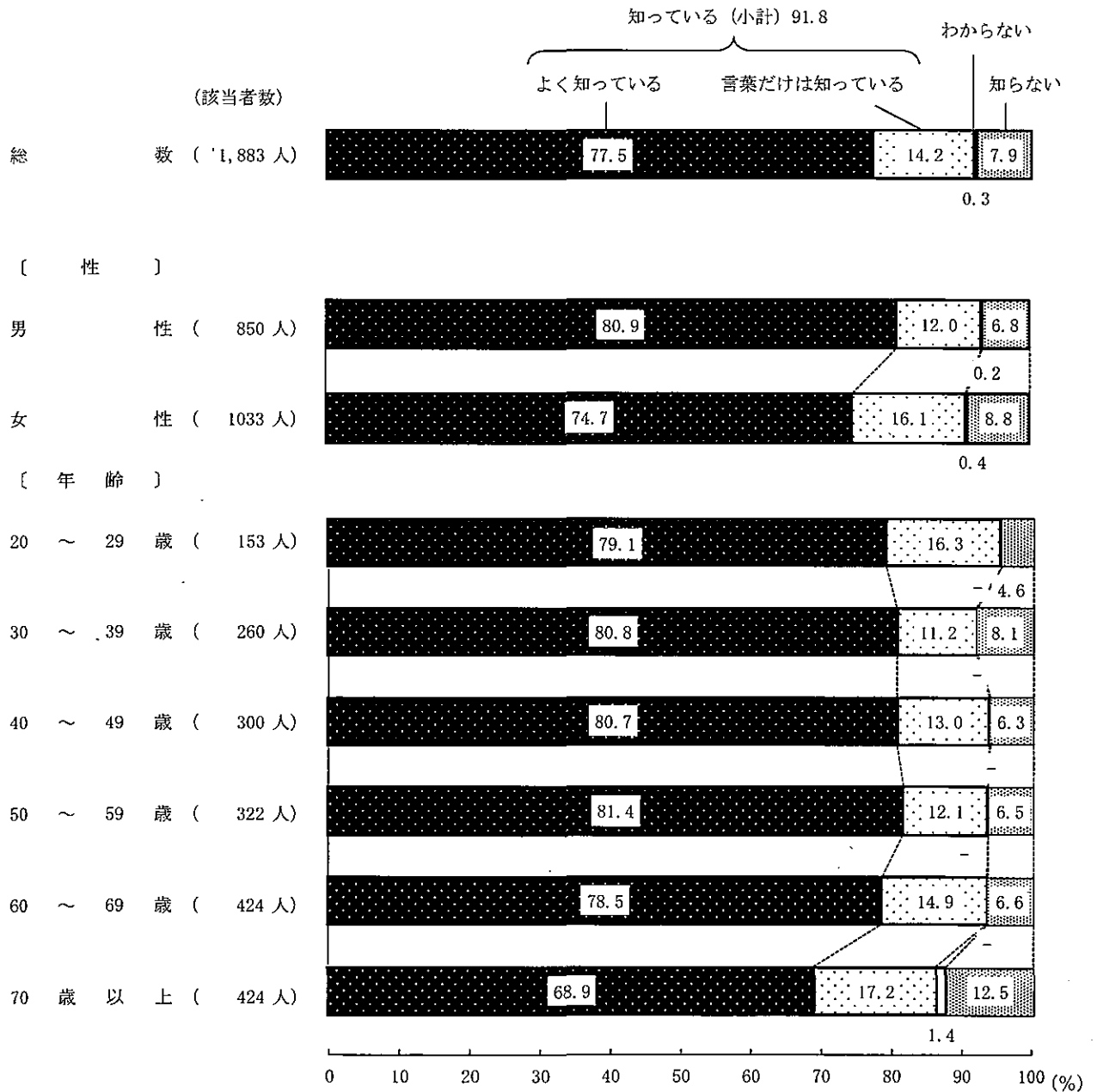


2 がんの予防・早期発見について

(1) 受動喫煙の認知度

平成 25 年 1 月

- ・知っている (小計) 91.8%
- ・よく知っている 77.5%
- ・言葉だけは知っている 14.2%
- ・知らない 7.9%



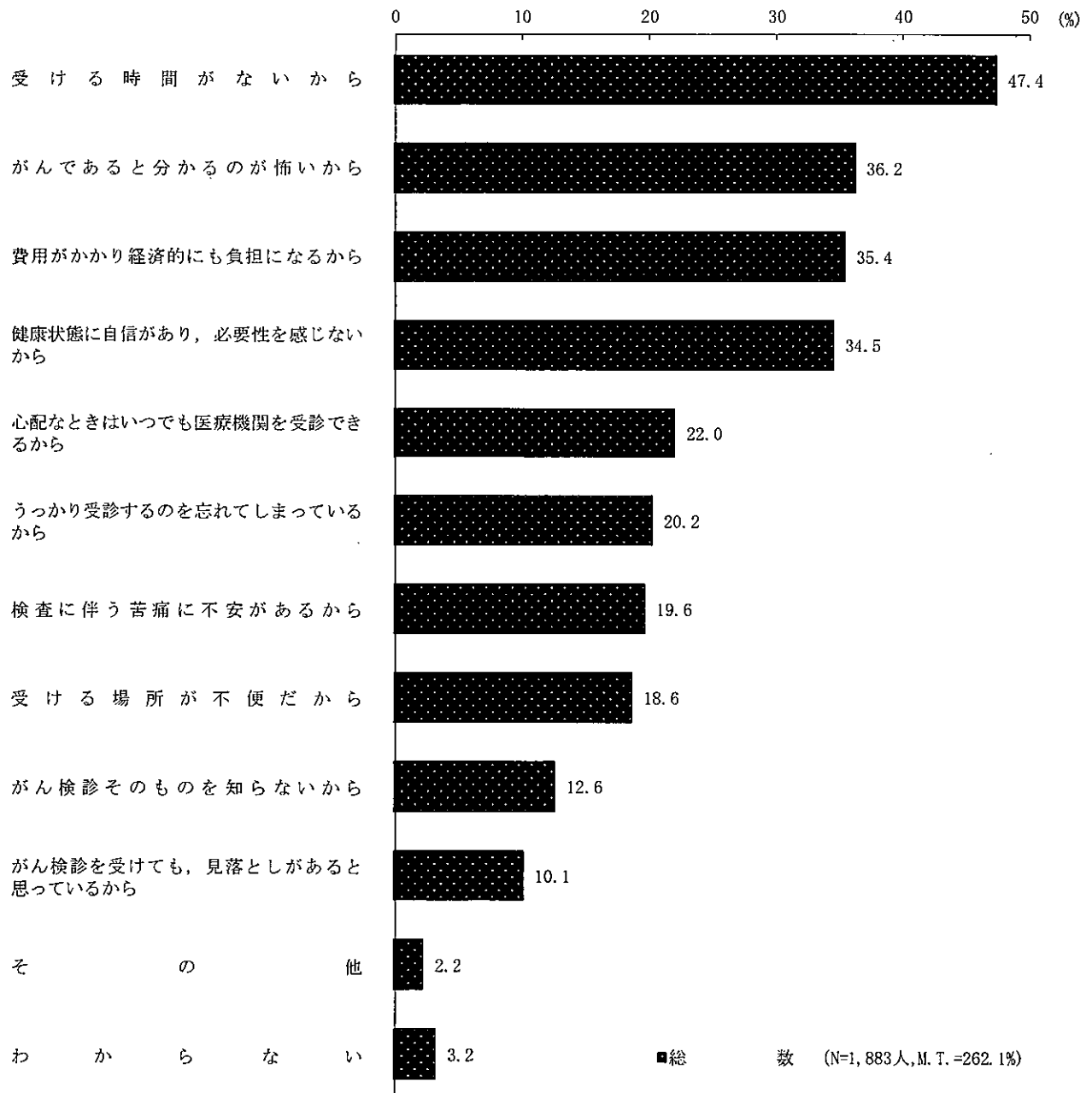
(2) がん検診を受けない理由の認識

(複数回答, 上位4項目)

平成25年1月

- ・受ける時間がないから 47.4%
- ・がんであると分かるのが怖いから 36.2%
- ・費用がかかり経済的にも負担になるから 35.4%
- ・健康状態に自信があり、必要性を感じないから 34.5%

(複数回答)



3 がんの治療法及び病院等に関する情報源等について

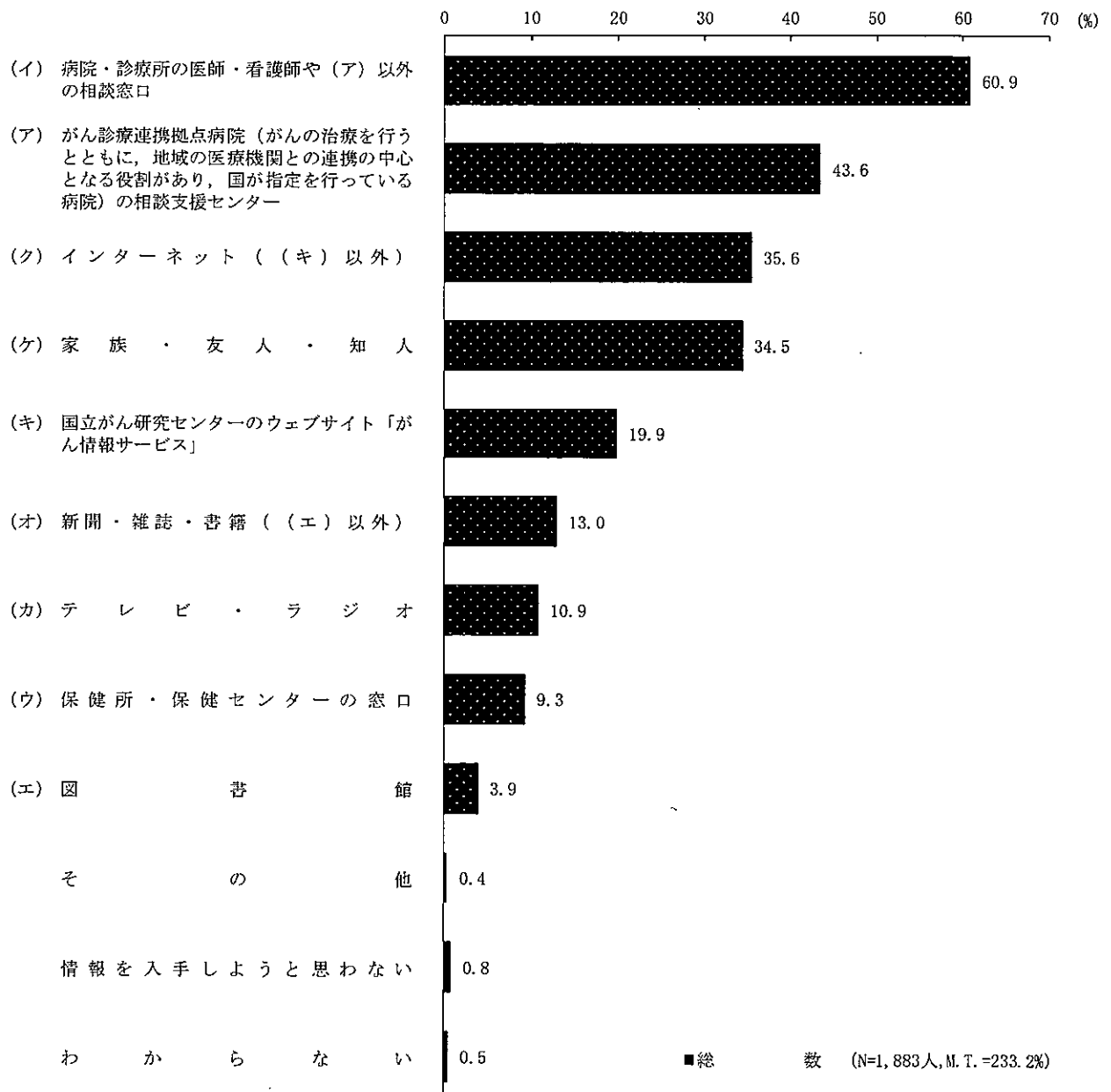
(1) がんの治療法や病院についての情報源

(複数回答, 上位4項目)

平成25年1月

- ・(イ) 病院・診療所の医師・看護師や(ア)以外の相談窓口 60.9%
- ・(ア) がん診療連携拠点病院(がんの治療を行うとともに、地域の医療機関との連携の中心となる役割があり、国が指定を行っている病院)の相談支援センター 43.6%
- ・(ク) インターネット((キ)以外) 35.6%
- ・(ケ) 家族・友人・知人 34.5%

(複数回答)



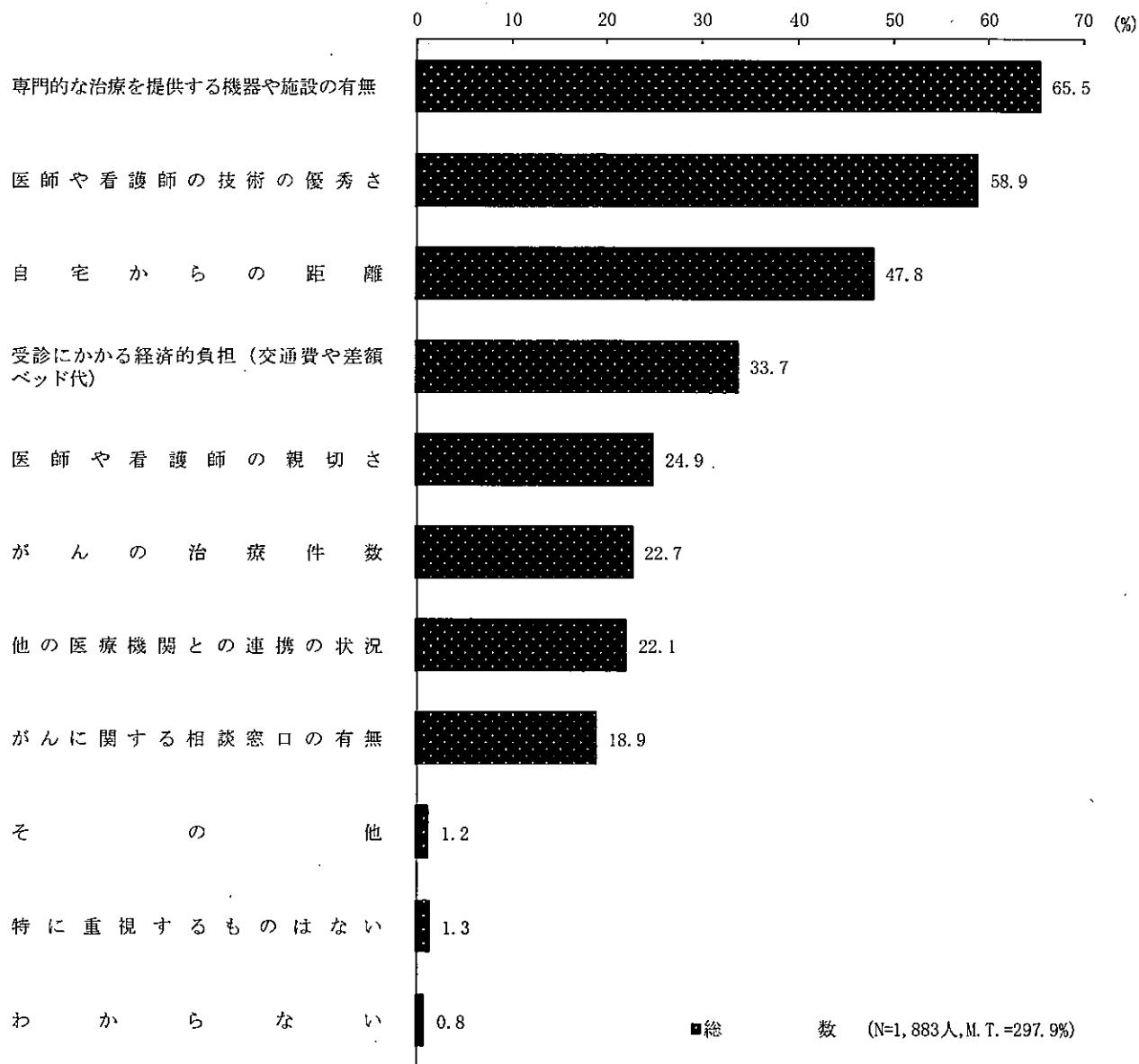
(2) 病院を選ぶにあたり重視すること

(複数回答, 上位4項目)

平成 25 年 1 月

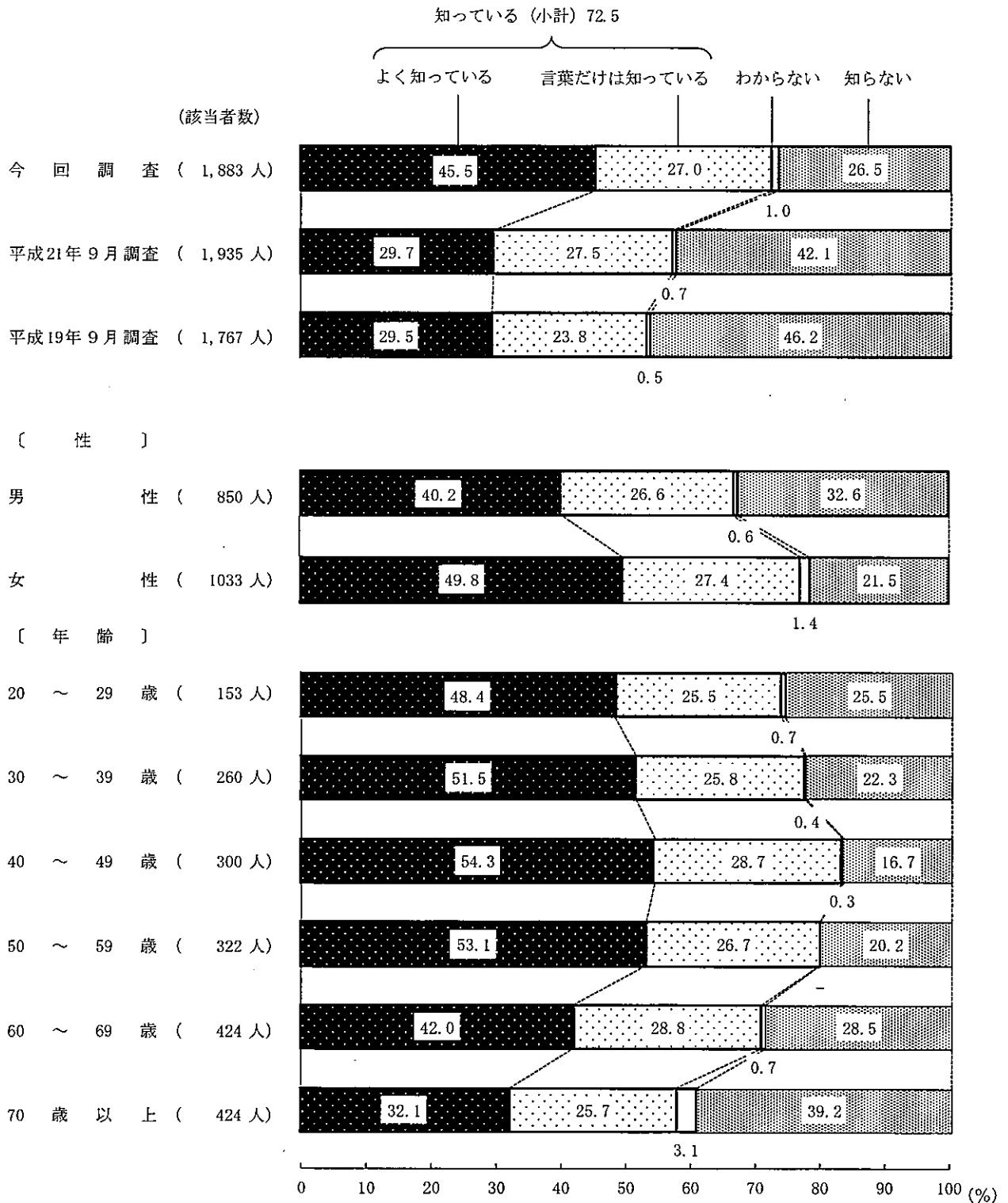
- ・ 専門的な治療を提供する機器や施設の有無 65.5%
- ・ 医師や看護師の技術の優秀さ 58.9%
- ・ 自宅からの距離 47.8%
- ・ 受診にかかる経済的負担 (交通費や差額ベッド代) 33.7%

(複数回答)



(3) セカンドオピニオンの認知度

	平成 21 年 9 月	平成 25 年 1 月
・知っている (小計)	57.2%	72.5% (増)
・よく知っている	29.7%	45.5% (増)
・言葉だけは知っている	27.5%	27.0%
・知らない (小計)	42.1%	26.5% (減)

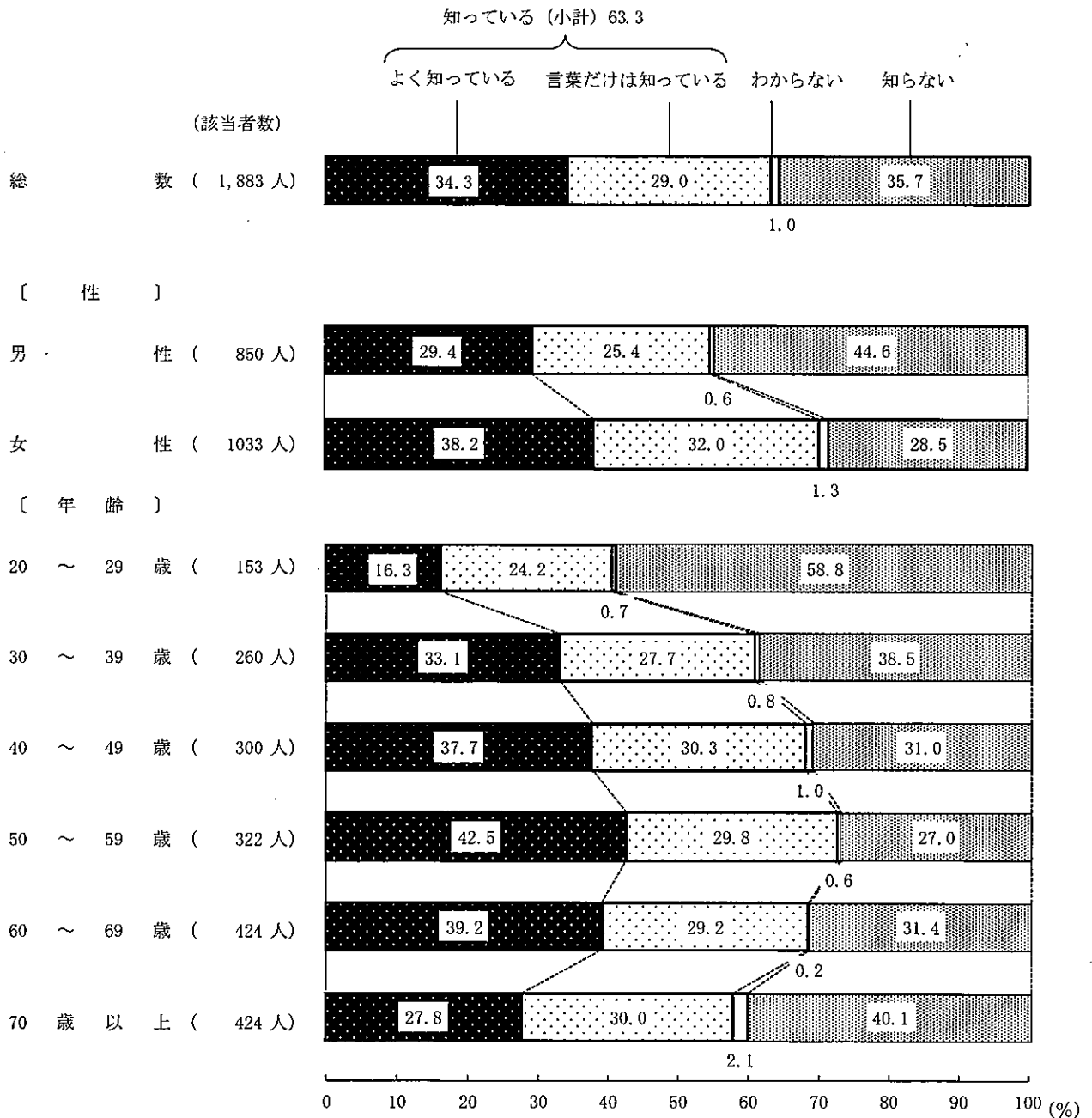


4 緩和ケアについて

(1) 緩和ケアの認知度

平成 25 年 1 月

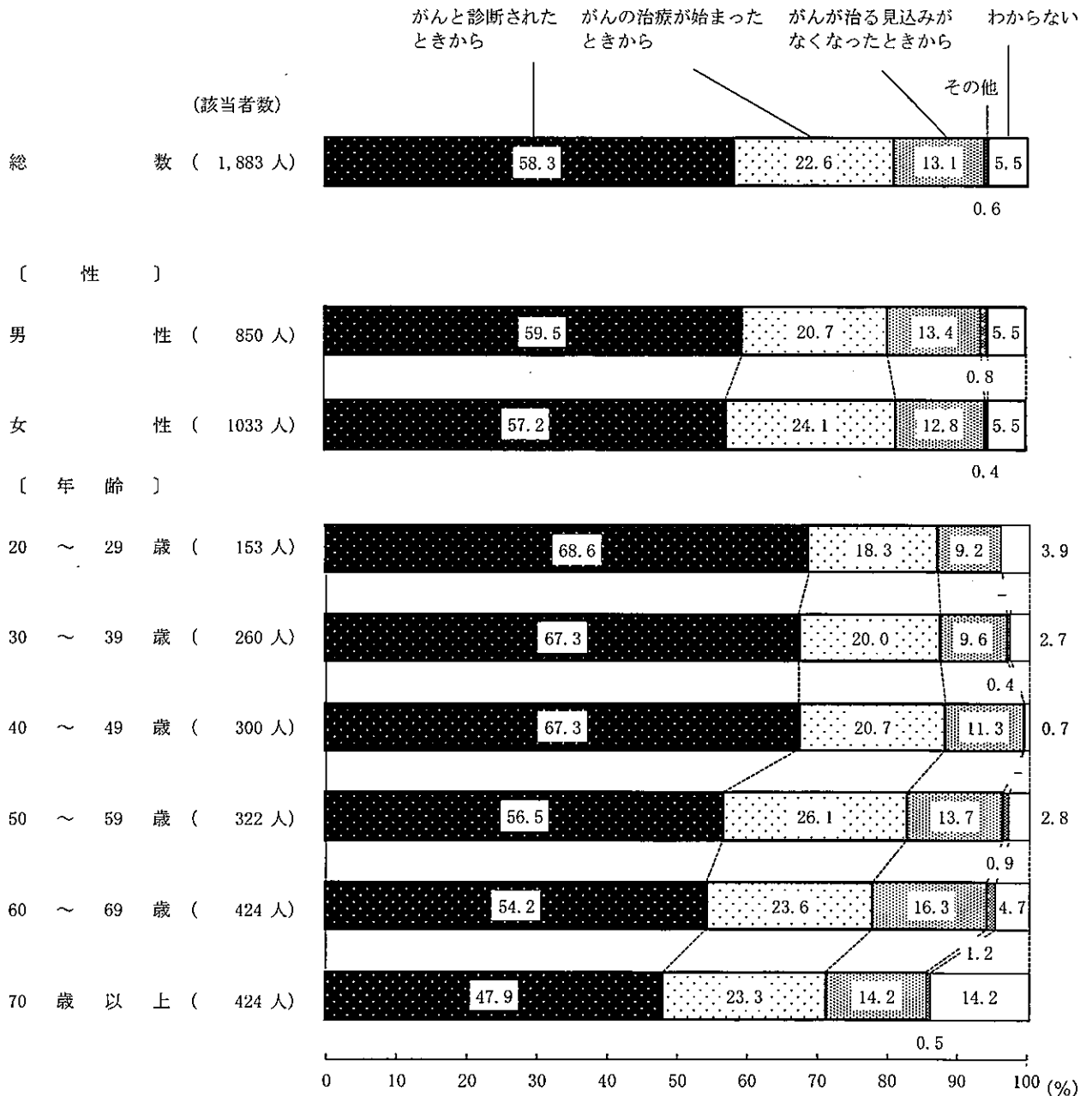
・知っている (小計)	63.3%
・よく知っている	34.3%
・言葉だけは知っている	29.0%
・知らない	35.7%



(2) 緩和ケアを開始すべき時期の認識

平成 25 年 1 月

- ・がんと診断されたときから 58.3%
- ・がんの治療が始まったときから 22.6%
- ・がんに治る見込みがなくなったときから 13.1%

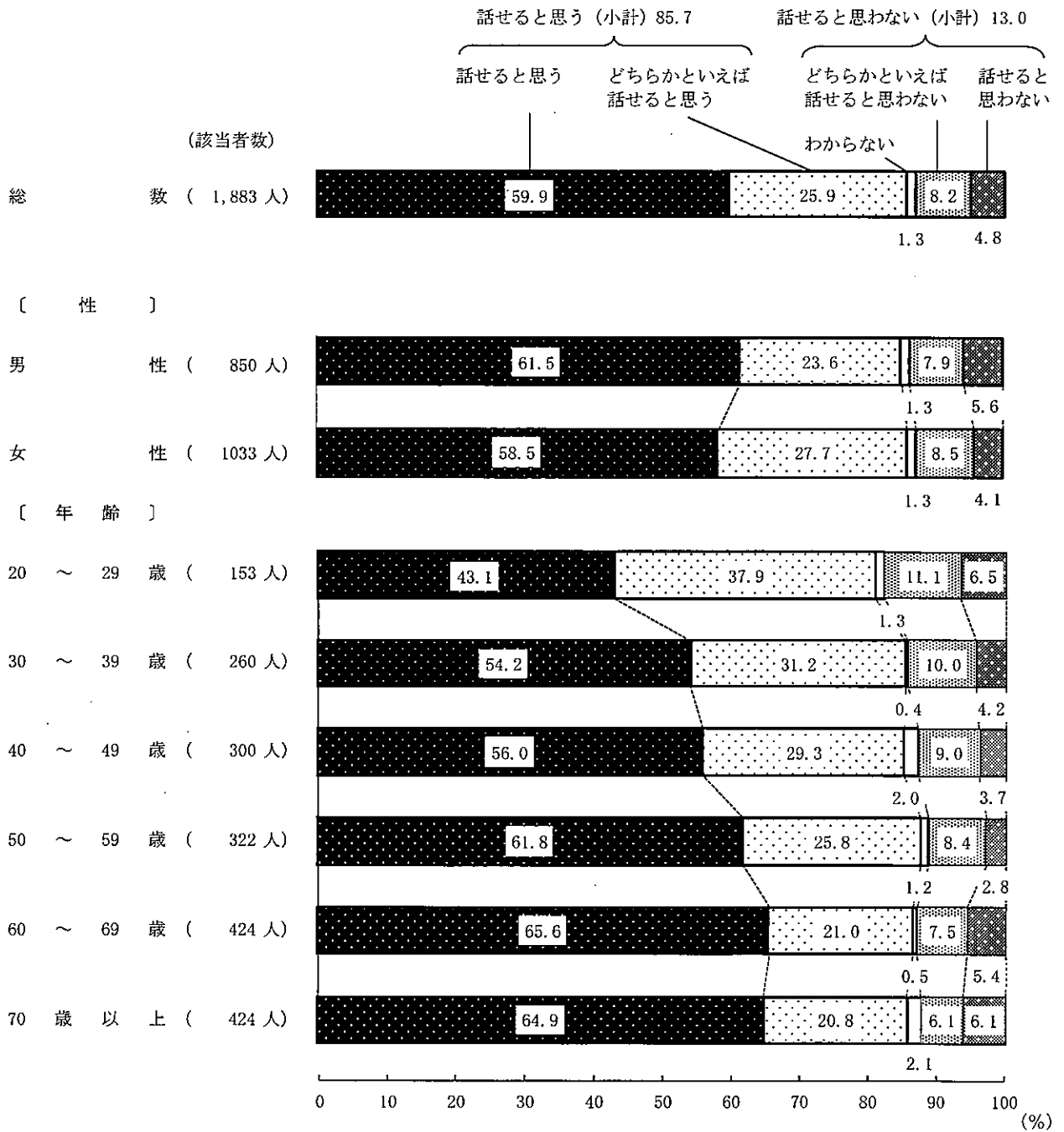


5 がん患者と社会とのつながりについて

(1) がんであることを伝えることの認識

平成 25 年 1 月

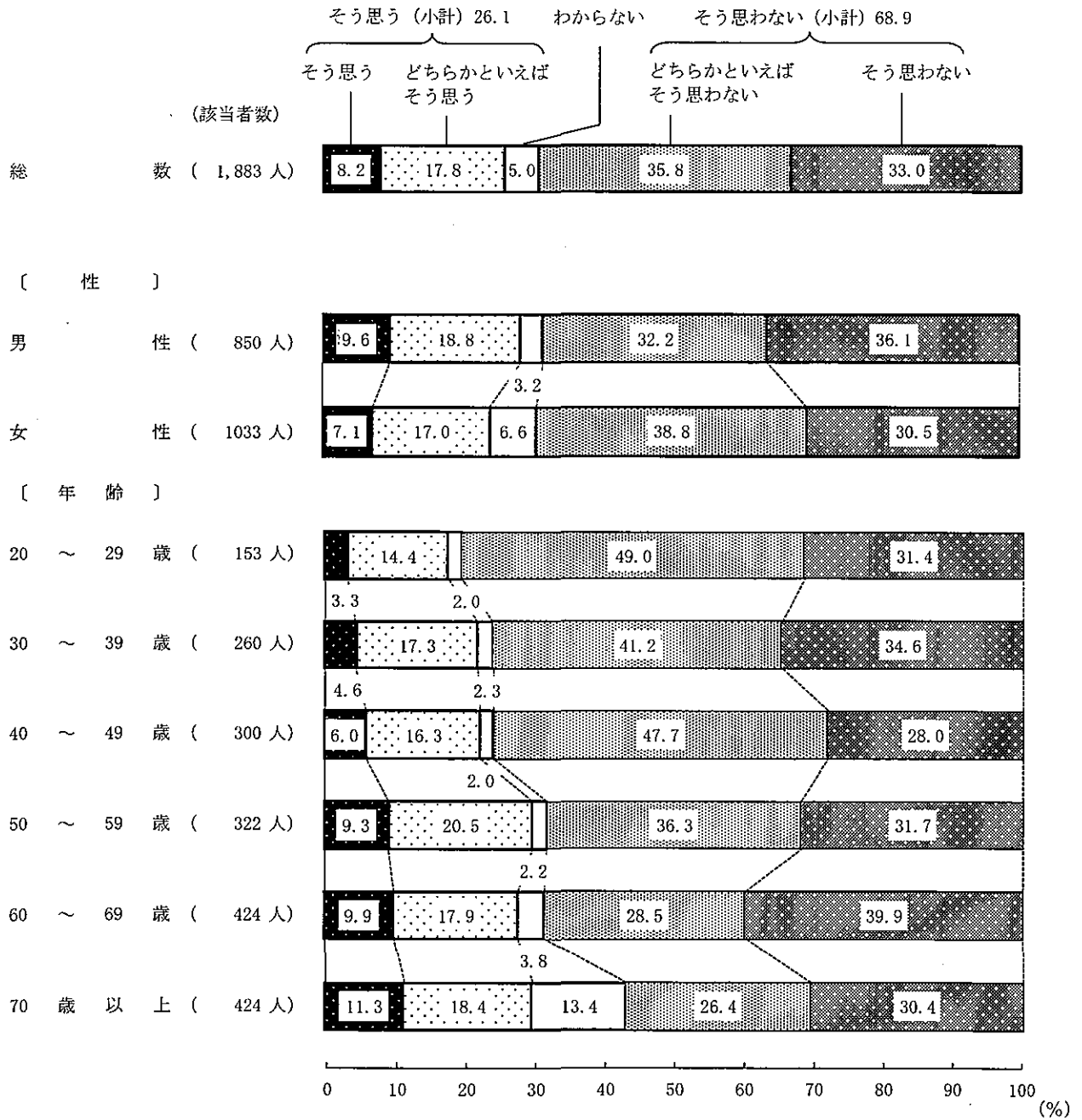
- ・話せると思う (小計) 85.7%
- ・話せると思う 59.9%
- ・どちらかといえば話せると思う 25.9%
- ・話せると思わない (小計) 13.0%
- ・どちらかといえば話せると思わない 8.2%
- ・話せると思わない 4.8%



(2) 仕事と治療等の両立についての認識

平成 25 年 1 月

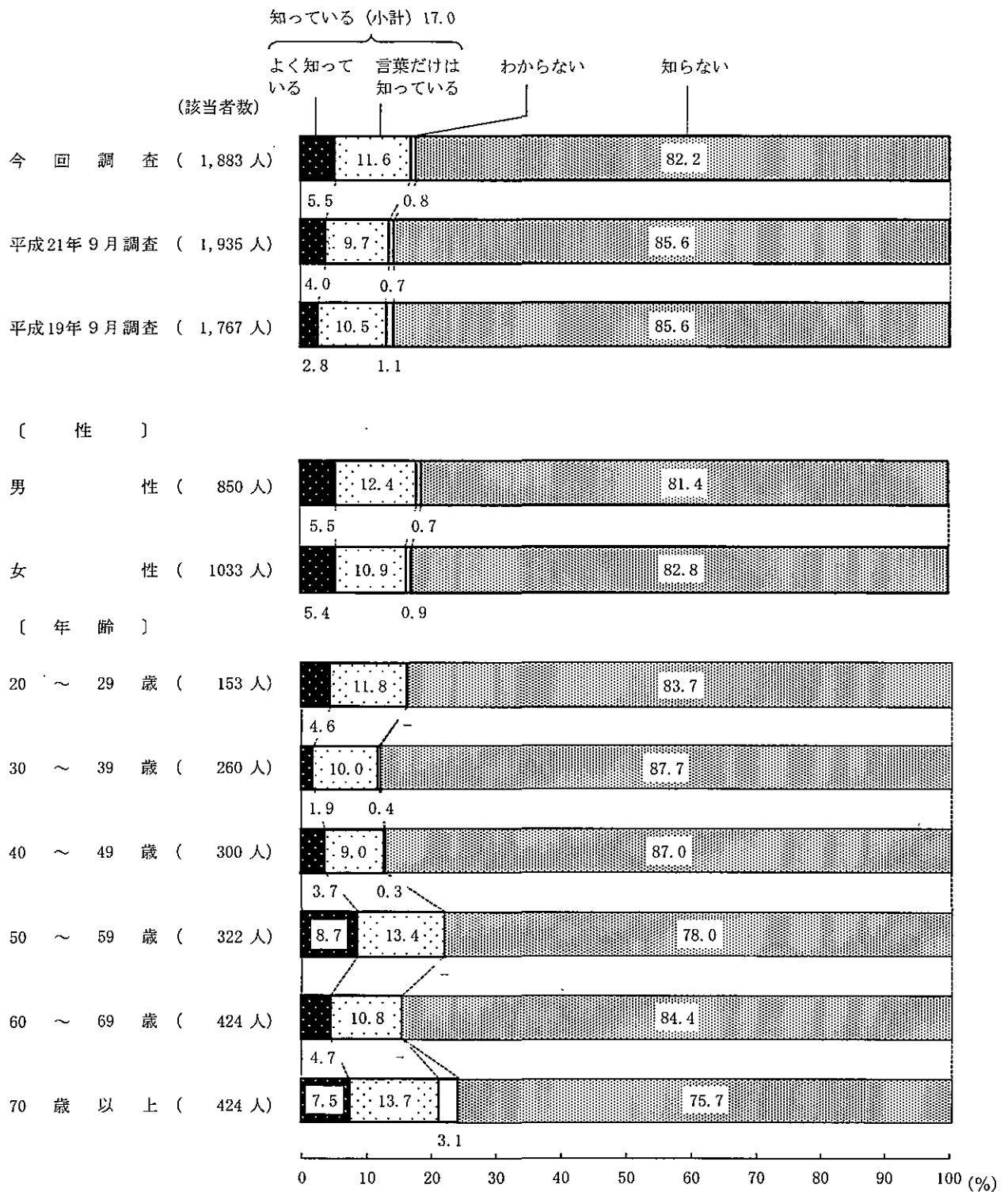
- ・ 思う (小計) 26.1%
 - ・ 思う 8.2%
 - ・ どちらかといえば思う 17.8%
- ・ 思わない (小計) 68.9%
 - ・ どちらかといえば思わない 35.8%
 - ・ 思わない 33.0%



6 がん登録について

(1) がん登録の認知度

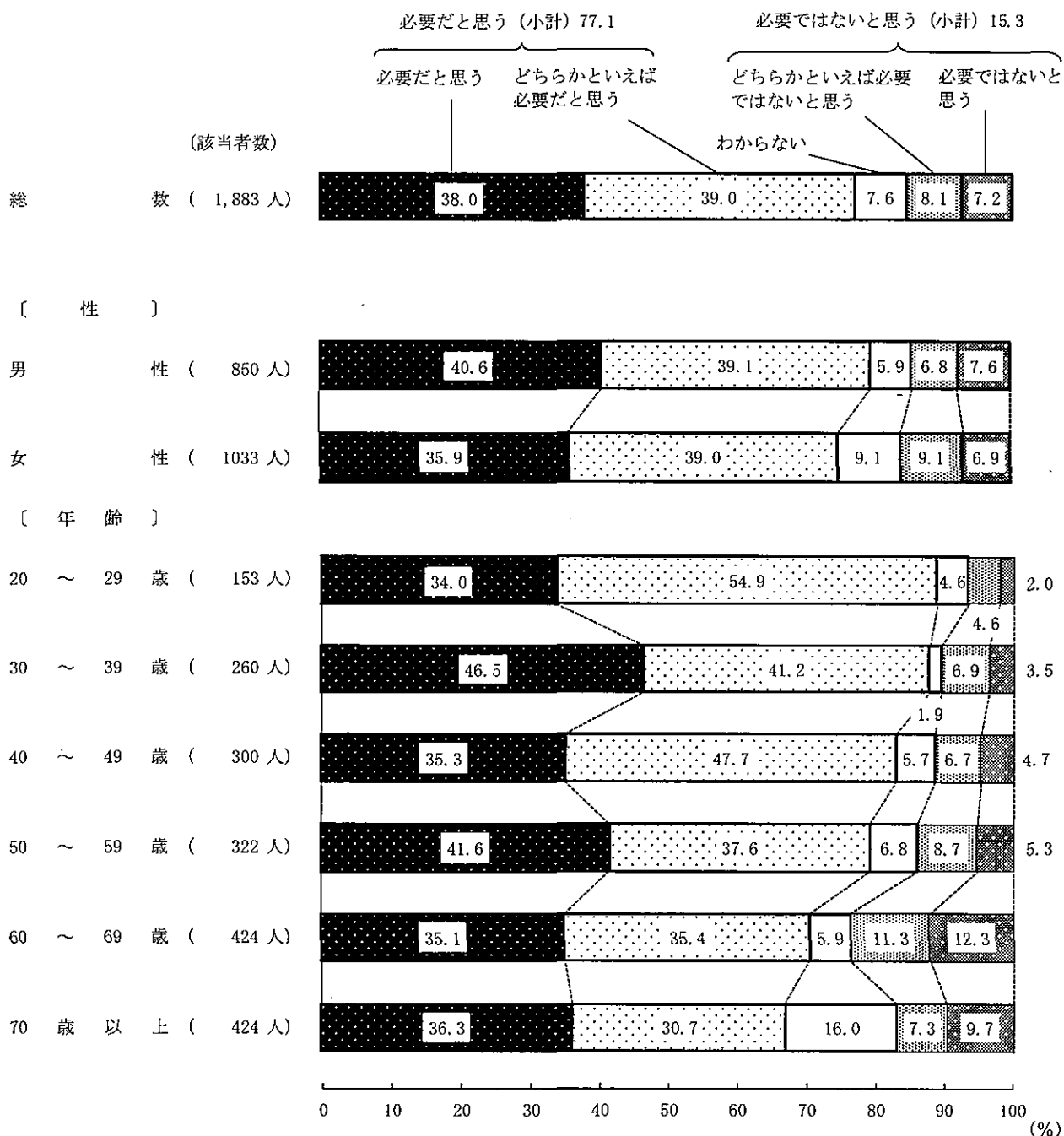
	平成 21 年 9 月	平成 25 年 1 月
・知っている (小計)	13.6%	→ 17.0% (増)
・よく知っている	4.0%	→ 5.5% (増)
・言葉だけは知っている	9.7%	→ 11.6%
・知らない (小計)	85.6%	→ 82.2% (減)



(2) がん登録の必要性

平成 25 年 1 月

- ・必要だと思う (小計) 77.1%
 - ・必要だと思う 38.0%
 - ・どちらかといえば必要だと思う 39.0%
- ・必要ではないと思う (小計) 15.3%
 - ・どちらかといえば必要ではないと思う 8.1%
 - ・必要ではないと思う 7.2%

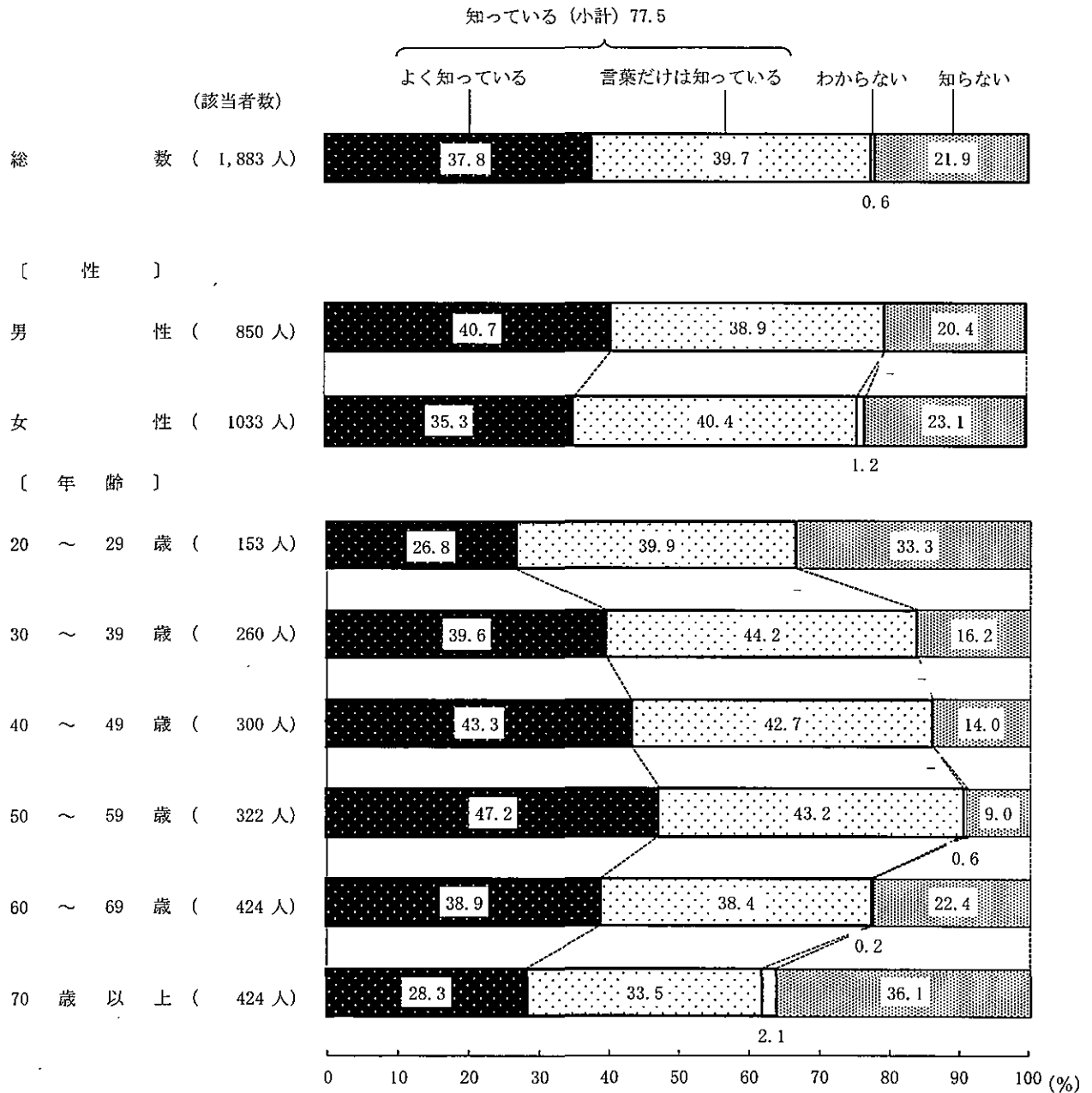


7 がんの臨床試験について

(1) 臨床試験の認知度

平成 25 年 1 月

・知っている (小計)	77.5%
・よく知っている	37.8%
・言葉だけは知っている	39.7%
・知らない	21.9%

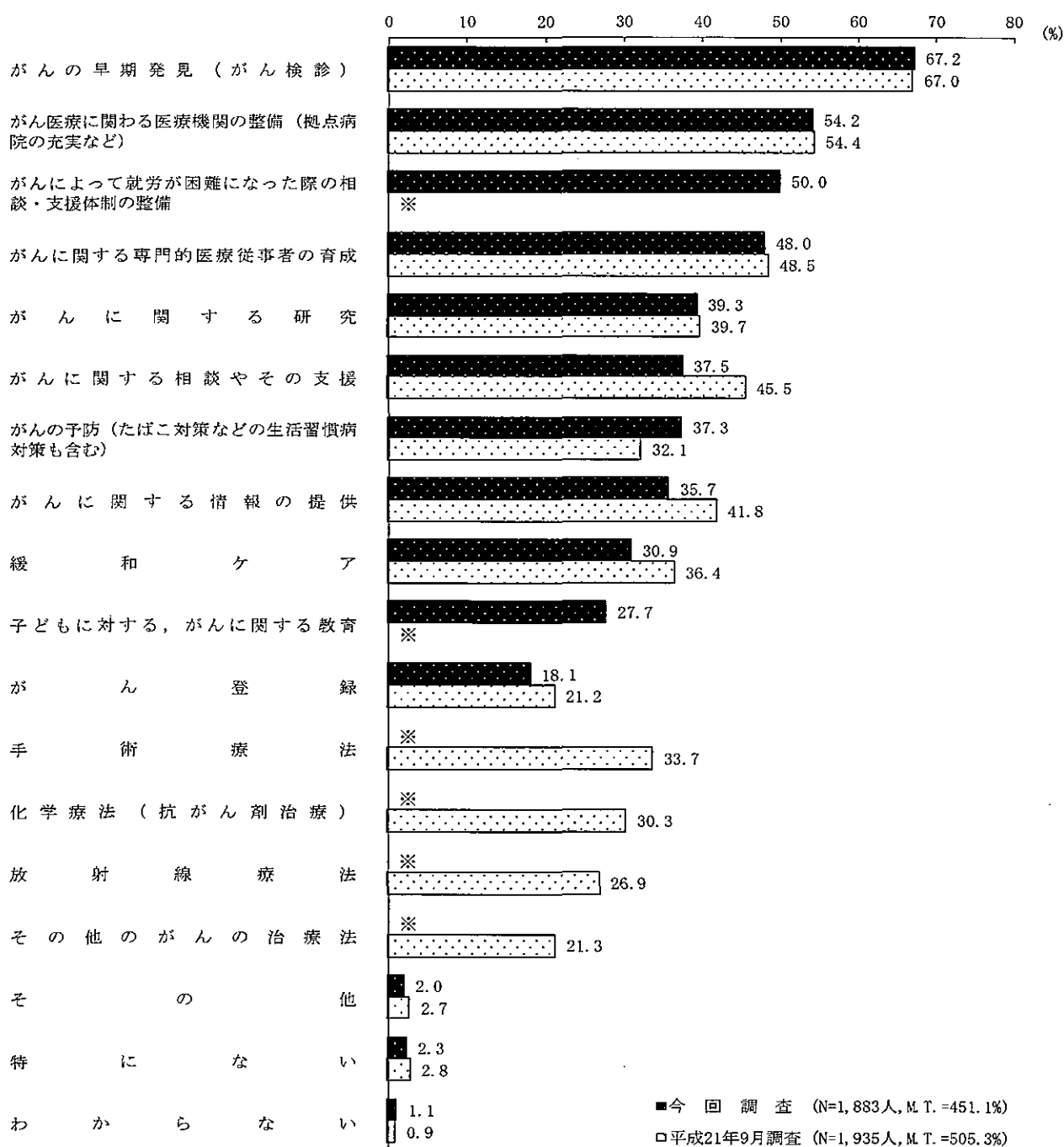


8 がん対策に関する政府への要望について

(1) 政府に対する要望

	平成 21 年 9 月	平成 25 年 1 月
・がんの早期発見（がん検診）	67.0%	→ 67.2%
・がん医療に関わる医療機関の整備（拠点病院の充実など）	54.4%	→ 54.2%
・がんによって就労が困難になった際の相談・支援体制の整備	※	→ 50.0%
・がんに関する専門的医療従事者の育成	48.5%	→ 48.0%

(複数回答)



※調査をしていない項目